

H25. 9. 28

# 保険証、診察券とともに



**長尾和宏** (ながお・かずひろ)  
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。近著「平穏死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。55歳。

「お薬手帳」を「存じずか？ 薬のことが書かれたあの小さなノート。」あの、面倒なやつ？」なんて思うのは間違いです。お薬手帳で患者さんは大いに得をします。時には命拾いするという話を「お薬シリーズ」の最終回に書かせていただきます。

お薬手帳には、処方された薬と処方した医師の名前が時系列に記されています。見方によっては、カルテとほぼ同等の価値があります。ただ、カルテは医療機関ごとに異なり、持ち出せません。紙カルテもあれば電子カルテもある。詳しく所見を書く医師もいれば、ほとんど書

## 常に「お薬手帳」を携帯したい

ちまち意識は回復します。このように、お薬手帳が命を救うこともあります。田舎の道や飛行機の中で倒れても同じことです。

先日、夜の診察の最後に要領の得ない患者さんが来院されました。15分ぐらい話を聞いていましたが、それでも何のために来院したのか、分かりません。

ポケットにお薬手帳が入っていたので拝見しました。すばい理想がつかめます。薬の重複がなくなるのでむだが首げは幸いです。



「お薬」シリーズ⑧  
〈最終回〉

かない医師もいる。実にさまざまですが、お薬手帳には処方した医師の名前と貴重な診療情報がそのまま載っているのです。

**お薬手帳** 薬の名前、分量、飲み方、処方日数などが印字されたシールが貼ってある小冊子。薬歴がひと目で分かる。薬局や医療機関で無料でもらえるが、複数あるときは一元化する必要がある。

あなたが低血糖を起こして、駅のホームで意識もうろうになって倒れたとしましょう。う。かばんの中にお薬手帳が入っていたらどうか。誰かが「この人はインスリンによる低血糖発作だ」とか「糖尿のお薬の副作用による低血糖だ」と気付くはずですよ。甘いジュースを一口飲んだら、た

だ、とその時に思い知らしました。お薬手帳は薬局で役立つことは誰でも知っています。お薬手帳の飲み合わせを薬剤師にチェックしてもらえらるからです。しかし薬局のみならず、医療機関の窓口でも必ずお薬手帳を出してください。

58歳の男性が、胃がんを宣告されるシーンから物語が始まります。手術、抗がん剤治療、在宅医療と、さまざまな局面が主人公を待ちかまえています。ぜひ「自己決定」を考える参考にしていただければ幸いです。

ひよっく